

一般質問

10名が登壇・市政を問う

御前崎市介護保険事業計画・ 高齢者保健福祉計画について



阿南 澄男

問 後期高齢者（75歳以上）が2005年には1、100万人、2025年には2、100万人との予想があり、実に5〜6人に1人が75歳以上の指摘があります。地方においては人口の減少と高齢化は避けて通れない現実です。市の介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画も20年度に第4期策定が予定されている中で、1点目として、介護予防事業の現状は。施設サービス利用者が計画を上回る実績となっているがその要因は

だき、高齢者の関心も高く、早期発見・早期対応に効果が上がっています。他市町に比べ、市内には特別養護老人ホームをはじめ、老人保健施設などの施設が9施設、定員数は448床と、利用し易い状況にあると考えられます。

問 3点目として、20年度に第4期の策定となるが、中期10年、長期20年の見通しを立てる必要があると思いますが

答 18年度から3年間の第3期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画では、介護保険の該当になることをできる限り防ぐ「介護予防事業」の施策に取組んでいます。

問 2点目として、特養施設の待機者が定員の倍近くになっているが、今後の予想と待機者解消の対策は

答 ご指摘のとおり、中長期的見通しを立てた中で策定していきます。計画の柱としては、第1に介護予防を推進し、要介護状態への移行防止、第2に先程述べました施設入所待機者を減らすためにも、在宅での生活を支援する体制の充実に取組んでいきます。しかしながら行政サービスにも限界がありますので、今後、団塊世代の方々にも介護予防リーダートして活躍いただけるような施策を推し進めていきたいと考えています。

「認知症予防講演会」には、180名の参加をいた

わせ、在宅での生活を支